

全社「防火の日」の取組みについて

1. 活動の背景

1970年代 8月18日、弊社 工場敷地内の部品部の倉庫で火災が発生。
人的被害は免れたものの、広範囲を焼損した。
この火災を教訓とすべく、毎月18日を「防火の日」と命名し、
敷地内全部門での防火活動を行う。

2. 活動内容

- (1) 正門から見える位置に「防火の日」の垂れ幕に掲揚よる警鐘活動。
- (2) 月度毎に「重点点検」活動を決め、各部署にて点検実施。

例)1～3月の活動内容

月	直接部門	間接部門	補足
1月	暖房器具使用状況点検 被覆の破れ, 埃, コンセント部	←	(赤外線ストーブ、灯油ストーブ) 漏電、ショート、トラッキング 使用環境を点検
2月	危険物の管理状況点検 指定数量, 転倒漏洩対策, 静電気対策	可燃物の管理状況点検 数量, 置き方	法令に基づく保管量、環境 換気、帯電、転倒、漏洩
3月	春の火災予防運動		全社統一活動 (詳細は別途ブロック長へ展開)

(3) 不適合箇所の改善と復元

- 春秋火災予防運動期間は、不適合が発見された場合は防火防災管理者へ報告書を提出。(下図)
- 他の月は、各部署より不具合発見件数及び対策実施件数を報告

図. 不適合改善報告書

(防火防災管理者へ電子メールで提出)
火災予防運動

不適合改善報告書

防火防災管理者

ブロックN.O. _____
職場名 _____

<集約表・不適合改善報告書>

不適合項目	対策内容	成果・問題点等
1 各工程(可燃物・不要物)2Sができていない	工程内の2S実施やリス・段ボールなど可燃物の撤去	定期的にパトロールを実施し可燃物等工程にあれば都度指導を実施。2Sに対し意識付けを図っていく
2 外製部品ポリボックス内可燃物(中敷きに新聞紙)あり	物流担当者からサプライヤーにフィードバック	部品納入時点検を行い不備あれば都度フィードバックを実施していく。

<実施後の成果・課題>

- 職場内の2Sの維持管理活動を継続が必要。
- 外製部品のポリボックス内可燃物の定期的点検が必要。(サプライヤーとの火災リスクへの調整)

<防火防災管理者考察>

この報告書は、各部署の防火防災管理者が、現場を巡回して発見した不適合箇所を、防火防災管理者へ報告し、対策を実施している。また、防火防災管理者が、現場を巡回して発見した不適合箇所を、防火防災管理者へ報告し、対策を実施している。

※保存期間：3年間

左から

- 不適合項目
- 対策内容
- 成果・問題点等

• 実施部署 成果・課題記述

• 防火防災管理者考察

- (4) 上記(1)～(3)による対策状況及び進捗状況を防火防災管理者が確認し、Check→Action→Plan→Doサイクルを廻す。